令和8年度　一般選抜2期　国語　問題

一　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

問題文につきましては、著作権の関係上、入試問題集には記載しておりません。

問1　傍線部a、b、c、d、e、のカタカナと同じ漢字を用いるものをそれぞれア～オのうちから一つずつ選び、記号で答えなさい。

a　ガン具
ア　合格キガン　イ　古典を熟読ガンミする　ウ　胃腸のガンヤク　エ　ガンキンを保証する　オ　ガンチクある表現

b　グウ然
ア　神社のグウジ　イ　未知とのソウグウ　ウ　千載イチグウの好機　エ　タイグウが悪い　オ　ハイグウ者と暮らす

c　イ持
ア　敵をイアツする　イ　イジョウ気象　ウ　植物センイ　エ　派手な舞台イショウ　オ　ユウイの人材

d　信コウ
ア　天をアオぐ　イ　胸板がアツい　ウ　親コウコウな息子　エ　コウスイの香り　オ　相手にゲイゴウする

e　セン在的
ア　センボウの的　イ　美しいセンリツ　ウ　センパクな考え　エ　敵のセンスイ艦　オ　代表をセンバツする

問2　傍線部①の「こうした力」とはどのような力ですか。その説明として最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　暇や退屈な時間をうまくやり過ごす力。
イ　スマートフォンなどを使いこなす力。
ウ　スマートフォンなどで新しい遊びを発見する力。
エ　自分たちで能動的に遊びを作り出す力。
オ　退屈な日々と向き合いじっと我慢する力。

問3　傍線部②「余白があり、インスピレーションを刺激する存在」とありますが、その説明として最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　遊具としての完成度が低く、人によっては遊び方が分かりにくいもの。
イ　子供の中から何かが能動的に生まれてくるのをじっと待ち続けるもの。
ウ　同じ遊具でありながら、使う人によって面白いと感じる点が異なるもの。
エ　創造性を育てるためと称し、子供の好き勝手を放任し許容するもの。
オ　子供たち自身が興味を持って新しい遊び方を生み出すことができるもの。

問4　傍線部③に「遊び手が主体として意識できることは、『歓待』のモードであろう。」とありますが、どういうことですか。その説明として最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　自然の変化やリズムを体感する中で、大人の目線ではわからない子供独自の視点を手に入れているということ。
イ　自然を細かく観察する中で、自然界には非合理で非効率的なものは存在しないということを意識するということ。
ウ　自然との触れ合いを通じて、自然を受け入れる一方で、自然に対する自己の認識も新たにしているということ。
エ　自然の中で様々な出会いを重ねるうちに、初めは遊びのつもりがいつの間にか主体的な学びになっているということ。
オ　自然に触れる体験を繰り返すことによって、大人には理解できない子供独自の視点を培っているということ。

問5　空欄［　I　］にあてはまる言葉として最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　「他者の発見」は「自分の変化」に影響しないのである
イ　「自分の変化」は「他者の発見」以前に始まっているのである
ウ　「他者の発見」は「自分の変化」以上に重要なのである
エ　「自分の変化」は「他者の発見」に影響されないのである
オ　「他者の発見」は「自分の変化」の裏返しなのである

問6　傍線部④に「どうして豪華な大型遊具ではダメなのだろうか。」とありますが、筆者はその理由をどのように考えていますか。その答えとして最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　遊具の種類が少なく公園内での配置バランスも悪いから。
イ　見た目は豪華だが内部の作りが粗雑で貧弱だから。
ウ　遊具の名前や形状から遊び方が事前に予想されるから。
エ　遊具の遊び方がはじめから決まってしまっているから。
オ　同じような遊具ばかりで公園ごとの特徴が感じられないから。

問7　傍線部⑤に「むしろ大事なのは「引き算」の発想である。」とありますが、この「「引き算」の発想」の説明として最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　子供たちが遊びに飽きないように、公園における遊具の種類を厳選しようとする考え方。

イ　子供たちを屋外に引き出すために、魅力ある多孔的環境を創造していこうとする考え方。
ウ　子供たち自身が遊びを生み出せるように、公園から遊具を減らしていこうとする考え方。
エ　子供たちが互いに交流できるように、公園に遊具以外の遊び場を設けようとする考え方。
オ　子供たちを公園に引き寄せるために、子供たちの意見を引き込んでいこうとする考え方。

問8　傍線部⑥に「「原っぱ」と「遊園地」を対照させ、次のように記している。」とありますが、この後につづく引用部分の文章構成を表す言葉として最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　主張と事例　　**イ**　三段論法　　**ウ**　比喩法　　**エ**　二項対立型　　**オ**　仮定法

問9　次の**ア**～**オ**のうち、問題文の内容と合致するものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア　子供たちの想像力や想像力を育てるためには、何かを与えるのではなく放っておくことが大切だ。
イ　大人のルールを子供に押し付けるだけではなく、子供の欲望にも耳を傾け受け入れる必要がある。
ウ　これからの公園には、ケアの視点を取り入れた場や遊具の設計が求められている。
エ　公園にはその地域の特性を踏まえて、多様な遊び方ができる多種の遊具を配置するのがよい。
オ　対極にあるとされる「原っぱ」と「遊園地」を統合すれば、理想的な遊び場となるだろう。

問題文につきましては、著作権の関係上、入試問題集には記載しておりません。

問1 傍線部**A**「セム語圏」、**B**「ロマンス語圏」、**C**「ロシア語圏」は、**図1**の**ア**～**オ**の中で、それぞれどれですか。記号で答えなさい。

問2 空欄［　**I**　］にあてはまるものとして適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 読み手にとって記述に必要な要素が読み手の期待する順番に並んでいることから生まれる感覚である
イ 話し手が読み手の必要とする要素を読み手にとって理解可能な順序で語るときに生まれる感覚である
ウ 読み手にとっても話し手にとっても双方が互いの文化の型を理解し歩み寄った時に生まれる感覚である
エ 読み手にとって記述に必要な要素と話し手が必要とする記述の要素とが合致している時に生じる感覚である
オ 話し手が記述に必要とする要素が読み手にとって期待どおりの順番に並んでいることから生まれる感覚である

問3 傍線部①に「論理的であることは、社会的な合意の上に成り立っているものだといえる。だからこそ文化圏によって違いが現れる。」とありますが、「論理的であること」に「文化圏によって違いが現れる」のはどうしてですか。その理由を述べている一文を抜き出し、初めの五字を記しなさい。

問4 傍線部②「必要な要素とそれを並べる順番」は文法という言語の内的システムのレベルではなく、レトリックが扱う作文／小論文の型（「構造／配置」）のレベルで考えた方がより有益である。」とありますが、なぜですか。その理由として最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 論理の型を言語由来とすると他文化圏のものは習得が困難になるが、修辞法の一つとして捉えれば、その後の学習によって習得が可能になると考えられるから。
イ 文化圏ごとに論理の型を分類することは可能であるが、同じ文化圏内であってもさまざまな言語があるので、言語内システムが論理の型を規定しているとは言えないから。
ウ 論理の型を言語由来としてしまうと母語の影響から逃れることはできないが、修辞法の一つとして捉えれば、さまざまな文化圏に共通する論理の型を生み出せるから。
エ 言語の内的システムに基づいた論理の型にこだわりすぎると、ある言語の文章を他の言語に翻訳した際にもとの型が崩れてしまうおそれがあるから。
オ 論理の型をレトリックの一つとして習得しておけば、母語以外の外国語が上手に話せなくても、言いたいことの大体は伝えることができると思われるから。

問5 傍線部③「それらを混ぜて使うことはできない。」とありますが、どういうことですか。その説明として最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 言語圏別に存在する「直線的」、「平行」、「間接的」、「紅余曲折」の論理展開のパターンを、入れ替えることはできないということ。
イ 政治、経済、法、社会という各領域はそれぞれ独立性が高いため、目的や目的達成手段を共通化することは困難だということ。
ウ どの社会や共同体にも存在する、政治、経済、法、社会という領域は、各々の文化圏を反映しているので別物であるということ。
エ 政治、経済、法、社会という各領域に存在する独自の目的や目的達成手段は、相互に入れ替えることはできないということ。
オ 言語や国に基づいて設定される論理のパターンを、政治、経済、法、社会という領域に当てはめることはできないということ。

問6 空欄［　**II**　］にあてはまるものとして適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 子どもの人格の形成
イ 社会で正しいとされる行為の実践
ウ 他文化への理解と協調性の育成
エ 当該国の伝統や価値観の伝授
オ 自国文化を超えた世界的視点の確立

問7 傍線部④に「価値観に紐づけられた論理を考える時」とありますが、この時に重要なことはどのようなことですか。それを説明している箇所を本文中から五〇字以内で抜き出し、最初と最後の五字を記しなさい（句読点や記号の類も字数に数えること）。

問8 傍線部**a**「演繹」、**b**「帰納」、の意味として適当なものを次の**ア**～**カ**のうちからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

ア まだ証明されていない事柄を説明するために仮に説を立てること。
イ 個々の具体例から共通点を探り、一般的な原理や法則を導き出すこと。
ウ 一見すると真理に反するような説を用いて実際には真理を説明すること。
エ 一般的な前提から、論理によって個別の結論を導き出すこと。
オ 意見と反対意見との対立や矛盾を、より高い次元で考えて統合すること。
カ 相手との議論を通じて相手の無知や誤りを明らかにしようとすること。

問9 この文章に関する説明として適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 前半ではカプランの説を紹介しながら他文化理解のためには文化圏ごとの論理の型を学ぶことが重要だと述べ、後半では、自国の文化を理解し主張するために学校教育が重要な役割を果たすべきだと述べている。
イ 初めに、文化圏によって論理の型が異なるというカプランの説を紹介し、次にその型が母語の影響を受けていることを指摘して、最後に、政治や経済などを例に、言語の影響を受けない論理の型を提案している。
ウ 前半では、カプランの説を紹介しつつ論理の型が社会的な合意の上に成り立っていることを述べ、後半では、文化を分類する他の領域を例に、それら領域ごとの目的や目的達成の手段に応じた論理の使用が必要だと述べている。
エ 前半では、カプランの説に基づいて、語学の得手不得手が各文化圏の論理の型の理解に重要な影響を及ぼすことを指摘し、後半では言語に捉われない論理の型を、政治や経済の領域を例に説明している。
オ 初めに、文化圏によって論理の型が異なるというカプランの説を紹介し、次にその型がレトリックの一つにすぎないことを指摘して、最後に、政治や経済などの領域においても文化圏が異なると論理の型が異なってくることを指摘している。

国 語

	問題番号	解答									
一	問 1	a	イ	b	オ	c	ウ	d	ア	e	エ
	問 2	エ									
	問 3	オ									
	問 4	ウ									
	問 5	オ									
	問 6	エ									
	問 7	ウ									
	問 8	エ									
	問 9	ア									

二	問 1	A	ア	B	イ	C	オ				
	問 2	ア									
	問 3	世	界	に	共	通					
	問 4	ア									
	問 5	エ									
	問 6	エ									
	問 7	最初	「	ど	の	領	域				
		最後	論	理	の	使	用				
	問 8	a	エ								
		b	イ								
	問 9	ウ									

【一般選抜2期　国語　出題意図】

一	子どもの遊びについて考察した文章を題材に、漢字力、文脈を踏まえた解釈や空欄に当てはまる表現を補う能力、文章構成や筆者の主張を読み取る力、および記載内容の適否を見分ける能力を評価します。
二	文化によって論理展開に違いがあることを論じた文章を題材に、文章内容と図表との対応関係の把握、論理展開に関する知識、文脈を踏まえた解釈や空欄に適語を補う能力、および文章構造を読み取る力を評価します。